

県内初受賞！外国人材育成の先進的取組が 国土交通大臣表彰を受賞

2026.01.13

草津市の建設会社エムズホールドは、国土交通省の「外国人材とつくる建設未来賞」で外国人材育成賞を受賞した。

滋賀県内企業として初の受賞で、1月19日に県副知事へ受賞報告を行った。

同社は従業員11人のうち6人が外国人で、先輩外国人社員をモデル役とした日本語勉強会を実施している。

決算情報を含む経営教育と人材育成を全社員で行う仕組みも評価され、イスラム教徒のラマダン期間には勤務時間やシフトを調整するなど信仰と仕事の両立にも配慮している。

外国人社員が地域清掃活動にも参加するなど、職場外での地域交流も受賞理由となった。



出典：滋賀県 <https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/348128.html>

滋賀労働局における「外国人雇用状況」の届出状況 (令和7年10月末現在)

2026.01.30

滋賀労働局は、2025年10月末時点の県内外国人労働者が2万5667人となり、前年より677人、2.7%増えたと発表した。

外国人を雇用する事業所は2773カ所で、52カ所、1.9%増となり、いずれも過去最多を更新した。

国籍別ではベトナムが8585人で全体の33.4%を占め、ブラジル5053人、インドネシア2693人が続いた。

在留資格別では身分に基づく在留資格が9107人、専門的・技術的分野が8184人、技能実習が6157人だった。

産業別では製造業が1万647人で全体の41.5%を占め、外国人労働者数は5年連続で増加している。

官（自治体等）
(関連画像 準備中)

「先進企業から学ぶ“多様な人材が活躍できる職場づくり”」好事例共有セミナーを開催

2026.03.04

滋賀県が委託運営する外国人材受入サポートセンターは、外国人材の定着や活躍をテーマにした企業向けセミナーを3月18日に大津市で開催すると発表した。

株式会社イトーキが、性別、年齢、国籍、障害、雇用形態などの違いを生かすDE&Iの取組を紹介する。

パネル討論では、多様な人材が働く現場の課題と定着に向けた工夫を共有する。

センター担当者は、外国人材の雇用が企業にもたらす効果を事例に基づき説明する。

参加費は無料で会場定員は先着200人、採用手続よりも採用後の職場づくりや戦力化に重点を置く内容である。



滋賀県海外インターンシップ受入支援 補助金の募集について

2026.04.27

滋賀県は、海外の大学等に在籍する学生をインターンとして受け入れる県内中小企業などへの補助制度を開始した。

将来、高度外国人材として県内企業に就職する可能性のある学生と企業が、就業体験を通じて相互理解を深めることを目的とする。

インターン期間は原則4週間以上とされ、観光や文化交流だけを目的とするプログラムは対象外である。

企業、NPO法人、農業協同組合、社会福祉法人などが申請でき、対象経費の2分の1（上限15万円）を補助する。対象事業の実施期限は2027年2月28日とされた。



【県の公共工事中】セメントをかぶり2人死亡 業務上過失致死の疑い視野に捜査

2026.05.27

草津市内の滋賀県発注工事現場で5月26日、地下約12メートルの農業用水管内で作業していた男性2人が、流れ込んだセメント状の資材に埋まり死亡した。
死亡したのは20代のベトナム国籍の作業員で、技能実習生とみられると報じられた。
現場では、使用を終えた地下管を埋め戻す作業が行われていた。
警察や消防が救助活動を行ったが、2人は搬送先で死亡が確認された。
警察は業務上過失致死の疑いも視野に、資材の注入手順や安全管理体制を調べている。

